

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会 (第56回放射線管理研修会)のお知らせ(5)

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会は中部支部が担当します。今回は北陸の金沢市で開催します。金沢市は、北陸新幹線が今年3月に開通してから、全国的に注目されており、この時期に金沢市で年次大会を開催できることを大変嬉しく思っております。年次大会のテーマは「放射能・放射線の情報を正しく発信するには」です。東電福島第一原発事故以来、放射能・放射線に対する負のイメージがますます強くなってしまいました。今回のテーマは、原発と切り離れた目線で、放射能・放射線のことを知っていただきたいと考えて、決めました。特に、一般の人たちにとっての放射能・放射線の知識は全て、原発を通してのものであり、放射能・放射線がどのように利用されているかもっと知っていただければと考えております。また、今回のテーマとは違いますが、金沢市の文化の発展や観光都市を目指した経緯について、長年尽力された前 金沢市長に話をさせていただく機会を設けました。是非、この機会に金沢市を深く知っていただきたいと考えております。最後に、年次大会の全体のプログラムも決まりましたので、お知らせします。

年次大会概要

- 開催日：平成27年11月26日(木)、27日(金)
- 会場：金沢市文化ホール
金沢市高岡町15番1号
(JR金沢駅よりバスで約15分)
- テーマ：放射能・放射線の情報を正しく発信

するには

今年度より事前参加登録を開始いたします。受付開始時期等詳細はホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) でご確認ください。

	事前登録	当日登録
年次大会参加費	6,000円	7,000円
交流会参加費	5,000円	6,000円

プログラム概要(予定)

【11月26日(木)】(1日目)

- 9:00～ 参加受付
- 10:00～10:40 開会・部会総会
- 10:40～11:00 平成27年度功労表彰(案)受賞式(および若手表彰(平成28年度以降)(案)創設について)
- 11:00～12:00 特別講演Ⅰ
「放射線安全管理行政の動向」
(原子力規制庁 長官官房 放射線防護グループ 放射線対策・保障措置課 放射線規制室)
- 12:00～13:00 休憩
相談コーナー
- 13:00～14:30 ポスター発表
- 14:30～16:20 シンポジウムⅠ(一般公開)
「核医学による最新診断および治療法」
- 16:20～16:30 休憩
- 16:30～17:30 特別講演Ⅱ(一般公開)
「歴史と文化のまちづくり」

主任者 コーナー

山出 保氏（前 金沢市長，石川県中小企業団体中央会会長）

18:00～20:00 交流会（於 金沢ニューグランドホテル）

【11月27日（金）】（2日目）

9:00～ 参加受付

9:30～11:00 シンポジウムⅡ
「メディア・リテラシーを考える」

11:00～11:10 休憩

11:10～12:00 特別講演Ⅲ
「小動物 PET/SPECT-CT 装置を用いた *in vivo* 動物研究の現状と将来性」

12:00～13:00 休憩

13:00～14:40 シンポジウムⅢ
「放射線施設改修工事および廃止における注意点」

14:40～15:00 放射線教育の報告

15:00～15:20 大会のまとめ，次回大会紹介，閉会

今回の金沢大会のプログラムとして，1日目は特別講演Ⅰ，ⅡとシンポジウムⅠを企画しました。特別講演Ⅰは「放射線安全管理行政の動向」の講演を放射線規制室の方にお願ひしております。国の行政は，均霑化という言葉が好きで，原子力規制委員会でも，同様に放射線規制室と原子力規制室の均霑化を図っており，人的交流・入れ替えが進んでいるとのこと。その結果，我々が関係する放射線取扱施設に対する規制が強化される懸念もあります。また，放射線規制室から，放射線施設の管理者への要望もあろうかと思ひます。その辺のことを，話していただければと考えております。特別講演Ⅱでは，山出 保 前 金沢市長に「歴史と文化のまちづくり」という演題で話をさせていただきます。

山出先生は市長時代に，金沢 21 世紀美術館の設立，東西の茶屋街の復興，旧町名の復活，工芸工房，料理職人塾の開設など，歴史ある文化の薫り高い観光都市としての金沢市の礎を築き，全てが現在の金沢市の観光の目玉となっています。会員の皆様には，金沢市の文化の魅力については是非知っていただきたいと考えております。

シンポジウムⅠ「核医学による最新診断および治療法」では，脳，心臓，がんの診断・治療法に関する最新の話題について話していただきます。アルツハイマー病の診断法として，最近注目されているアミロイドイメージングとタウイメージングについて，がん治療法としては短寿命の α 線核種 (^{223}Ra 等) を利用した最新治療法，また，心臓については，最新の画像診断装置による心疾患の診断等について講演いただきます。

2日目は，特別講演ⅢとシンポジウムⅡ，Ⅲを企画しました。特別講演Ⅲは，放射線施設の利用の増加に繋がる小動物の *in vivo* 動態イメージングが撮像できる小動物イメージング装置を利用した研究について紹介していただきます。これは，遺伝子改変マウスの異常タンパクや代謝異常を *in vivo* 動態イメージングシグナルとして，その挙動や変化を視覚的に捉えることができるもので，今後の疾病原因探求や診断・治療薬開発に大変有効な手段となり得ます。シンポジウムⅡ「メディア・リテラシーを考える」では，放射能・放射線に関する情報をメディアに提供する側と放射能・放射線に関する情報を社会に伝えるメディアの相互理解を進め，情報を客観的に正しく伝える方法について検討し，いかにメディアを正しく活用できるか考えていきたいと思ひます。シンポジウムⅢ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」では，放射線施設の大規模改修工事や放射線発生

装置施設の廃止に伴う書類手続き上の注意点並びに、実際の工事で起こる問題点（予算不足、設計と実際との相違等）について、情報や経験をお話いただきます。改修工事又は施設の廃止を行う予定の会員の方々の参考になればと考えています。

ポスター発表の要旨提出

○要旨提出期限：9月25日(金)

○発表要旨の原稿作成要領：

A4判縦で図表を含めて2枚以内で作成してください。書式は1行36文字、1ページ35行、文字の大きさは12ポイント、余白は上下左右共に30mmとします。要旨は図表も含めてワープロ原稿として、事務局にE-mailで送信してください。

相談コーナー

日頃の放射線管理業務での疑問や困りごとなどについて、相談をお受けします。相談員には法令検討専門委員会や各支部のベテランの方にお問い合わせの予定です。

その他

前記のプログラムのほか、機器展示や書籍コーナーを設ける予定です。

交流会

11月26日(木)18:00から、金沢市文化ホー

ルの向かいにある金沢ニューグランドホテルで開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

【金沢市へのアクセスと宿泊に関して】

金沢市へのアクセスには飛行機や新幹線が利用できます。飛行機の場合、羽田、札幌、福岡、仙台、那覇の各空港から小松空港までの便があります。小松空港から金沢市内までは高速バスで1時間ほど掛かります。特に、関東方面から来られる方は、是非、北陸新幹線をご利用ください。東京-金沢間は最短で2時間28分です。関西方面の方はJR西日本・北陸本線のサンダーバードをご利用ください。大阪-金沢間は最速で2時間33分です。金沢市は日本でも上位の観光都市であり、ホテルなどの宿泊施設もたくさんあります。ただ、北陸新幹線が開通してからは、土、日曜日は大変混み合っています。今年5月のゴールデンウィーク中には、前年比150%以上の観光客が訪れました。年次大会後にそのまま観光も考えておられる方は、早めに予約をした方が良いでしょう。